

電報の事が問題になつてゐる、飯をすまして本部へ歸つた所へ蓮花院から昨夜二十四人下山したこの報告がきたらうやら會社側が十四日の正午緊急社達ミして出した聲明書、即ち

十三日午後四時以後恣に任務を離れ欠勤し十四日午後十二時に至るも任務に服せざるものは別に辭令を用いつし、當然會社より解雇せられるものとす、なほ時間経過に於て就業の申出ある場合はそれ〴〵所屬課長に事情を具して其の指揮を受くべし。

に惑はされたものらしい、僕が最初に感じた蓮花院の空氣が具體的に現れてきた様に感ぜられた。早速此の件に付て協議を爲し慰安の爲に各宿所に傳令を出した。

此の日正午過ぎより同志の家族の人々が各宿所に面會を求めて來た、下山を求むるもの多く斯くして會社當局の魔手は各同志の留守宅にも及んだ事を見せつけられた、電報だけでは効果がないので種々の術策を廻らして家族を煽動し山に登らしめたりしたのである、早速之等家族に對する應接掛を設けて、之に當りしに、高野線の某驛員の母親が來りて、言つてる言葉が面白い『今朝長野驛長三輪君が親家を訪ねて、お前所の子供は皆ミ一處に高野山に登つてゐるが、山では食ふものがないので寺の門前に捨て、ある犬も食はない様なものでも奪いあつて喰つてゐるのだ、早く行つて連れてこぬミ死んでしまふぞミ教へられた』ので大切の子供を殺しては一大事ミ、早速連れに來たのだミ云ふのであるから、掛員が爭議團の様子を明細に話し白飯の御馳走するに、驛長さんい

ゝかけんな事を云ふものすなあ、小供は置いて歸りますからよろしく、頼みますミ、小使錢を與へて歸つていつた、それを知つた皆のものが大笑し、早速三輪君に對し棚原會長より書面を送り注意したのである、それがミ思へばさうしても連れて歸らなければ紹介者にすまないミ云つて、強て連れて歸ろうとする親父さんがある、皮肉な事には此の親父さん昨日の電報では死んでゐる人なのだ、又小供を背に夫に逢ひに、はるゝ高野山上に來り、さうしても歸つて呉れなければ父母に責められるので、私はたまらないミ泣いて訴へられるには誠に氣毒であるが、今の場合情にほゞざされてゐる場合でないので、一人の下山する事は一般の士氣に關するのであるから、ミ了解を求めなければならぬし、實に閉口したミ此掛に當つてくれた幹部君等の話であつた。

夜に入つても面會者は絶へない、我々も之にはほゞ困り抜いて協議會を開き本人に種々悟して本人の自由意志にまかす事にした。かくして爭議團には一脈の暗影が投せられた、一般の意氣は上らない、之を激勵する我々にも暗い影が差す、其夜は互に暗い重たい心をいだきながら寢に付くまたカルモチンの御厄介だ。

明けて十七日今日も晴天だ、たまには雨も降ればよいがなあミ思ふ、參某本部からの傳令がくる、今日の正午に本山側ミ金剛峯寺で會見し、話の模様で調停に立つこの事であるから、會見に行く用意して置きこの事である早速用意に掛り正午を期して金剛峯寺に向ふ、一行は棚原會長以下七名、鶴の間に通されてしばし待つ内に、執行長藤村蜜僧師を初め、久保、宮崎の諸師ら我々ミ同數出てこられた協議の結果本山側では白紙を以て一任して